

年頭ご挨拶



富士通株式会社 代表取締役社長

田中達也

皆様、新年あけましておめでとうございます。読者の皆様方には平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。本年が皆様にとりまして、良い一年となりますことを心からお祈り申し上げます。

テクノロジーが急速な進歩を続け、ビジネスや社会、人々の生活に非常に大きな変化をもたらしています。ビジネスの成功にとって、ICTの活用がこれまで以上に重要になっております。多くの企業では、既にデジタル革新に取り組み、成果を生み出し始めています。

富士通は80年以上にわたり、豊かな社会を実現するために先端技術を追求してきました。テクノロジーが富士通のDNAであり、ビジネスのコアであることに変わりはありません。富士通はテクノロジーをベースとしたサービスオリエンテッドカンパニーとして、これからも人を幸せにするイノベーションを提供していくことを目指してまいります。

そのために、お客様の事業をお支えし、ともにビジネスを創造するかけがえのないパートナーとして、ICTに限らない幅広い専門力を磨いてまいります。その上で、世界中の企業や研究機関、スタートアップとのオープンイノベーションを進め、富士通の技術を世界の有力な製品やサービスと組み合わせることで、先進的なデジタルサービスを創出します。そして、グローバルに信頼される世界トップレベルのサービスを、各地域や各国のお客様により早くお届けする体制を構築してまいります。

また、より大きな価値を生み出すためには、お客様を含めた幅広い方々と力を合わせる事が重要になってきています。富士通は、ICT業界の枠を越えたCo-creationを積極的に進めております。多くの皆様とエコシステムを築くことで、お客様や社会にとっての成果を生み出していきたいと考えております。

技術革新が利便性をもたらす一方で、気象変動による災害や人口構造の変化など様々な要素が絡み合い、人類は、過去に経験したことがない複雑な時代を迎えています。そのような変化への対応手段としても、テクノロジーへの期待が高まっています。例えば、様々な機器から生み出されるデータの分析・解析から災害や不測の事態の予測を行い、問題の解決や未然防止を可能にするなど、安心・安全で明るい未来の実現に貢献できるように

と考えております。国連の「持続可能な開発目標」SDGsは、私たちの目指す未来と同じであり、心から賛同しております。思いを同じくする方々とともに達成を目指してまいりたいと存じます。

今後どのようにデジタル化が進展しても、社会の主役が人間であることに変わりはなく、人がより豊かに生きることこそが最も重要です。富士通は、ヒューマンセントリックで持続可能な社会を実現するという思いを信念として、皆様の新たなチャレンジにおけるチームの一員となり、新たな価値の創造に貢献してまいります。

何卒、倍旧のご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。